

平成 16 年度 大学院入学者選抜試験問題 (第 2 次)

専門科目

経済政策・経済史・経営各論・会計分野

以下の問 1～問 5 の中から 1 問を選んで解答しなさい。

問 1 (経済政策) J.M. ケインズの経済政策論の主要論点と、その現段階的意味について論じなさい。

問 2 (経済政策—財政—) 高齢化社会への政策的対応について論じなさい。

問 3 (経済史) 東アジア高度経済成長について論ぜよ。

問 4 (経営各論) 以下の (1)、(2)、(3) のいずれか一題を選び、解答せよ。

- (1) 今日の企業をとりまく環境状況を踏まえて、望ましい企業の条件にはどのようなものがあるか。その場合、たとえば望ましき企業を狭義の優良企業とより広義にとらえた「よい会社 (企業)」に分けてとらえるのも一つのアプローチである。ただし、回答は必ずしもこの二つの分け方にこだわる必要はない。回答者が考えるところでもっとも適切と思う角度から、今日的に見た「よい会社 (望ましき企業)」の条件となることについて説明すればよい。
- (2) 今日の企業経営において、経営戦略が重視される背景や事情について述べよ。
- (3) 今日の企業経営において、あらためて人の問題が重視される背景について簡潔に説明せよ。その上で、近年とられている主要な人事施策のうち任意の一つを取り上げ、その長所・短所および制度適用の留意点などについて述べよ。

問 5 (会計学) 原価主義、時価主義、低価主義を比較論評しなさい。できれば最近の日本の制度会計における時価主義導入の動向にも触れること。